

多文化共生の  
取り組みに  
フォーカス!

# 「第8回川崎市外国に つながる子どもの 教育フォーラム」を開催して

川崎で頑張っている  
民間団体紹介  
54



ブラジル・サンパウロ世界大会2022年にて  
ジョルジ・ファラ・ネト会長(CBFMブラジル・フットメザ協会会長、左)と

テーブルボタンサッカー協会  
フットメザ・ジャパン

川崎市内の学校や地域で「外国につながる子ども」の多様な支援が行われています。さまざまな状況で、指導者・支援者は独自の工夫や対策をしながら、子どもたちを支える取り組みを続けています。2013年に当団体のNorman Nakamuraが提唱し、2014年に第1回の教育フォーラムを実施しました。

川崎市内の学校と地域で外国につながる子どもを支援する人、さらに教育委員会事務局など関係者が一堂に集まり、共通の課題を学習し、意見交換する取り組みとしてコロナ禍の前までに7回実施してきました。グループに分かれ意見交換した場では、他の方の支援方法やその効果を聞いたり、紹介を受けた実践例の中から取り入れられることを考え、一人ひとりが試行錯誤して取り入れることで支援を成長させることができました。また、この教育フォーラムの目的である緩やかな連携を通じて、支援者の孤立防止にも寄与してきました。

2023年3月15日(水)は、3年ぶりに「第8回川崎市外国につながる子どもの教育フォーラム」として実施しました。今回から主催団体として(公財)川崎市国際交流協会が、協力団体として社会福祉法人青丘社と多文化活動連絡協議会が名を連ねました。当日は教育委員会事務局の協力を得て、20名の教育フォーラムを実現することができました。

講師は、中国で中学校を卒業し、地域の学習支援を経て、在県特別募集の高校に進み、大学を卒業して、横浜市の職員となった白聖壘さんをお呼びしました。現在は、外国につながる高校生を支援する団体「リッドゾーン」を立ち上げ、市民活動もしています。白さんは、自分の豊富な経験や活躍をたくさん話された上で、大切なことは環境に恵まれない外国につながる子どもを支え続けることが重要と力説されました。特に、外国籍の子どもでも在留資格を変更しないと就職できない子どもを心配し、適切なケアが必要と訴えかけられたことは印象に残ります。

参加者からは「勉強することが、進学することが自分にとって必要であることを外国につながる子どもに気づかせることが重要と気づきました」などのコメントがありました。

20代の若さながら分かりやすく話してくれた白さんのこれからの活躍を期待しています。また、この教育フォーラムが、彼の支援に何らかの影響を及ぼしたと信じ、引き続き教育フォーラムを持続させたいと考えています。



白さん、民族服にて



グループディスカッションの様子

(文・写真:多文化活動連絡協議会 代表 中村ノーマン)

行ってみたいな!  
マのお店

～外国人シェフや外国人と共に、頑張っているお店を紹介～

## 7 南インド料理 マリニ 南インド&フュージョン

【営業時間】 11:00～15:00、17:00～22:00  
【住所】 〒211-0025 川崎市中原区木月一丁目12-8 マリニ1F  
【電話番号】 044-948-9276、080-3398-5598

元住吉プレーメン通りから脇道に入り2ブロックほど先に、クマルさんとディビヤさん兄妹が営む南インド料理店Malini(マリニ)があります。

タミル料理を中心としたメニューは、野菜中心でスパイスがよく効いていて、とてもヘルシー。さっぱりとしているカレーは、ナンよりも全粒粉で作られたプーリーやチャパティがよく合います。南インド料理の中でも有名なビリヤニは「混ぜご飯」と紹介されたりもしますが、このお店では「炊き込みご飯」なのだそう。ランチセットに



マリニの皆さん  
(中央がディビヤさん、  
右がクマルさん)



ランチBセット  
(カレーが1品多い土日  
祝日/バージョン、ライスを  
ビリヤニに変更)

450円追加して、ライスをマリニ特製のビリヤニにかえるのもオススメです。

20席ほどの店内はとても居心地が良く、テイクアウトの対応や貸し切りパーティの相談にも乗ってもらえる、思いやりあふれるお店です。

お店のWebサイトはこちら



(取材・文:編集ボランティア 相澤弥生)

フットメザは、ブラジルのサッカー好きたちが服の大きなボタンを選手に、小さなボタンをボールに見立てて、卓上でサッカーをしたのが始まりの競技です。日本ではまだまだ知られていませんが、ブラジルでは学生の大会に始まり、全国大会、世界大会が行われたり、有名なスポーツクラブには必ずフットメザ部門がある、れっきとした「スポーツ競技」として認知されています。

フットメザ・ジャパンは2007年4月、川崎市国際交流センターで初めてのトーナメントを行いました。私はこれまで世界大会に4度(2012年ブラジル・リオ・デ・ジャネイロ大会、2015年ハンガリー・デブレセン大会、2018年ポルトガル・リスボン大会、2022年ブラジル・サンパウロ大会)出場し、世界中の選手と交流してきました。国際テーブルサッカー協会の一員である私は、国内ではブラジル協会国際担当者としてブラジル文化であるフットメザの普及活動を、国外では日本代表として日本を紹介しています。

サンパウロ世界大会(2022年)でブラジルを訪れた際には、サンパウロ州の多くの有名スポーツクラブ(パウメイラス、サンパウロSPFCなど)の練習に参加し、多くの一流プレーヤーと対戦する機会を得ました。試合が始まると誰も戦い方を教えてくれないので、ゲームを続けるために攻めたり守ったりしながら、何とかして自分の方法を探り、身に付けていきます。この感覚がフィールドサッカーをするのと全く同じだったのは衝撃的でした。

コロナ禍で講習会を開けない時期が続きましたが、今年度は川崎市国際交流センターにて月1回開催します。ぜひ、仲間を誘ってフットメザを体験しに来てください。

フットメザに必要なのは、集中力、忍耐力、ルールを理解する力、スポーツマンシップと相手を尊重する心。そして、審判のいないフットメザでは、自分の失敗を認めて状況を正しく判断して戦う、冷静で強い気持ちが大切です。

【川崎市国際交流センターでの講習会の日程】  
5月28日、6月18日、9月10日、10月22日、11月26日  
2024年1月27日、2月25日、3月17日  
※原則として日曜日、1月のみ土曜日に実施。



卓上の円盤をおはじきの要領で、パスやドリブルをしてゴールを狙う競技



川崎市国際交流センターで、ポルトガル語講座とフットメザ講習会(2015年)

Futmesa Japan テーブルボタンサッカー協会  
代表:田中硬一・ハーレー  
Instagram: futmesajapan  
Facebook: https://www.facebook.com/futmesajapan/  
e-mail: selunoah@icloud.com